

第7回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年7月4日(火) 13:30～16:30

2. 開催場所：日本電気協会 4階 C会議室

3. 参加者 (順不同, 敬称略)

委員：濱名・田中(東京電力), 坂元(関西電力), 浪越(北海道電力), 間嶋(北陸電力), 石井(四国電力), 佐野(日本原電) (計7名)

委員代理者：佐久間(東北電力・青木), 井川(中部電力・榊田), 名原(中国電力・内富), 水口(九州電力・藤井), 市川(電源開発・須河内) (計5名)

欠席：多田(北海道電力) (計1名)

オブザーバ：井上, 浦野(日本原子力技術協会) (計2名)

事務局：大東, 長谷川(日本電気協会) (計2名)

4. 配付資料

資料 No.7-1 運転管理検討会委員名簿(H18.7.3現在)

資料 No.7-2 第6回 運転管理検討会 議事録(案)

資料 No.7-3 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮称)(JEAC480X-200X)

資料 No.7-4 J E A G 4 8 0 2 原子力発電所運転員の教育・訓練指針 変更案

5. 議事

(1) 会議定足数の確認について

委員総数13名に対して本日の出席委員数は, 代理委員も含めて12名で検討会決議に必要な委員総数の2/3以上の出席が確認された。

(2) 代理参加者およびオブザーバ参加者の承認について

本日, 代理出席の佐久間氏(東北電力: 常時参加者・青木), 井川氏(中部電力・榊田), 名原氏(中国電力・内富), 水口氏(九州電力・藤井代理), 市川氏(電源開発・須河内)およびオブザーバ参加の井上氏, 浦野氏(日本原子力技術協会)の会議参加に検討会主査から承認された。

なお, オブザーバ参加の浦野氏(日本原子力技術協会)が濱名主査の推薦を受けて検討会委員候補として運転・保守分科会に承認を受けることになり, 了承された。

(3) 前回議事録(案)の確認について

事務局より, 資料 No.7-2 に基づき, 前回の検討会議事録(案)が紹介され, 表現の修正をした上で, 本内容について承認された。

(4) 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮称) 制定案の検討

田中委員より, 資料 No.7-3 に基づき, 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮

称)(案)として、前回からのコメント(法令用語との整合、規格策定基本方針 規格策定の手引きとの整合、表現修正、誤字修正など)を反映した改定案が説明された。

議論の結果、表現及び誤字の修正を行い、制定案として、各委員に配信して最終確認を行なうこととした。コメントがあれば田中委員まで連絡することとして、最終確認の修正等を行なった上で次回運転・保守分科会に提案することとした。

委員からの主なコメントは以下のとおり。

「訓練センタ」は「訓練センター」ではないか。同様に長音符号の記載ないものが他にもある。

規格策定基本方針 規格策定の手引きでは、「語の終わりが、-er,-or,-arなどは、学術用語に準拠するが、長音符号“-”は省略してよい。」とあるので、統一して省略した。

附属書内に「例」があるものとなないものがあるが、その区別はあるか。

本規定の中では、附属書は、解説中からの引用であるので、「例」としているものである。誤解のないように表題を修正する。

[解説 6.1-2][解説 8.2-6]の“…が無関係であること”という表現はわかりにくい。

わかりやすいように“…とは独立していること”に修正する。

(5) 原子力発電所運転員の教育・訓練指針 改定案の検討

田中委員より、資料 No.7-4 に基づき、第5回検討会で委員からのコメントを反映した、JEAG4802-2002「原子力発電所運転員の教育・訓練指針」の改定案が説明された。

委員からの意見、コメントはなかったが、各委員持ち帰り、最終確認を行ない、コメントがあれば田中委員まで連絡することとして、最終確認の修正等を行なった上で次回運転・保守分科会に提案することとした。

(6) その他

1) 次回運転・保守分科会の開催日は、8月11日(金)の開催が決定した。分科会には、原子力発電所運転責任者の判定に係る規程 制定案、JEAG-4802-2002 原子力発電所運転員の教育・訓練指針 改定案、JEAG-4801-1995 原子力発電所運転マニュアル作成指針の廃止提案、の3件について提案し、審議いただく予定である。資料として、 の制改定概要、 の制定案、 の改定概要、 の改定前後比較表、 の提案書を準備する。

2) 次回検討会は、次回運転・保守分科会の審議状況により、開催日・場所を決定する。

以上